



石神小だより

11月号 令和3年11月2日

352-0033 新座市石神1-10-20

Tel 048(477)2152

Fax 048(482)6797

<http://www.c-niiza.ed.jp/e-ishigami>

本物にふれる体験を

校長 佐久間 幸代

30度を超える真夏の日差しが、あっという間に晩秋のような北風になりました。急激な気候の変化に、校庭の木々も、あわてて色づいてきたように感じます。感染症もひとまず落ち着きが見えてきたようです。

本校では、2年ぶりに運動会を実施することができました。学年ごとに参観の人数を制限し、PTA やおやじの会の皆様に誘導等を、保護者の皆様にご理解ご協力をいただき、新しい運動会を開催できましたことに感謝申し上げます。(SDGs 17)

通常の1か月を過ごし、改めて、日々の生活を見直す時期だと感じています。感染症対策のため、生活に様々な規制があり、子供たちがストレスを感じている様子が見受けられました。その一方で、よくないとわかっていても、自分でブレーキをかけられない実態もありました。その一つがタブレットの使用の仕方です。初めて持ち帰った時に、タブレット使用の約束の手紙は持って帰りましたが、ご家庭に十分お伝えする時間がありませんでした。学習以外での使用、設定の変更、安易な持ち運び方等、対策を講じる必要があります、少しずつ点検を行っています。

11月から、月1回、タブレットの振り返りを学校と家庭で実施します。学校では、各月の中旬に、学級でカードを使った振り返りをします。その結果を下旬に家庭に持ち帰り、家庭でも振り返りを行い、使い方を共有していきます。カードは、かるたの読み札になっており、できるようになってほしいこととやっちはいけないことが書かれています。できなかったことは、家庭でもお声がけください。

学校では、改めて使い方の確認をしていくとともに、できないことが多かったカードの絵札を募集して掲示するなど、学習用具として大切に使うよう、指導してまいります。ご協力をよろしくお願いいたします。(SDGs 4)

パラリンピアン・ヴァイオリニストを 招いて

本校では、令和元年度より、体育の研究に取り組んでまいりました。本年度は、そのまよめの年にあたり、成果を1月25日に発表することになっています。

体育や音楽等、実技が主となる教科は、感染症の影響を多く受けてきました。そこで、これまでの学びを、さらに高い目標へとつなげていくことができるようにと、11月11日に、東京2020パラリンピックに出場した、走り高跳びの小久保寛太選手と樋口進太郎コーチを招いて、体育の授業を行います。

10月に授業で幅跳び遊びを行った2年生、キャリア教育の一環で6年生、クローバー学級の子供たちと交流し、幅跳び等を行います。小久保寛太選手は、パラリンピックで自己ベストの7m1cmを跳び、4位入賞を果たしました。パリパラリンピックに向けて、意欲的に練習を続ける中での来校となります。

また、12月には、9月に予定していた延期になった、大塚野乃子さんによるアウトリーチコンサートを行います。新座市出身の大塚さんは、オーケストラに所属し、また仲間と精力的にコンサート活動を続けていらっしゃいます。新座市民会館でも何度かコンサートを開いています。今回は、フルートとピアノのアンサンブルで、まじかに迫ったクリスマスや音楽の時間に学習した曲を盛り込んで、学年ごとの1日6回公演に挑戦してください。(SDGs 4、17)

また、生活科社会科見学は、校内で体験活動やオンライン見学を行います。見学当日は、お弁当になります。まず、2年生がお魚体験をします。お魚タッチやカツオの一本釣り等、お魚と触れ合います。5年生は、大分県の漁業、ヤマト運輸の関西ゲートウェイのオンライン見学、江戸風鈴絵付け体験を行います。